【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【公開番号】特開2001-220415(P2001-220415A)
【公開日】平成13年8月14日(2001.8.14)
【出願番号】特願2000-352440(P2000-352440)
【国際特許分類】
***Ｃ０８Ｆ 290/00 (2006.01)***
***Ｂ０１Ｊ 20/26 (2006.01)***
***Ｃ０８Ｆ 2/04 (2006.01)***
***Ｃ０８Ｆ 2/44 (2006.01)***
***Ｃ０８Ｊ 3/24 (2006.01)***
***Ａ６１Ｆ 13/53 (2006.01)***
***Ａ６１Ｌ 15/60 (2006.01)***
***Ａ６１Ｆ 13/49 (2006.01)***
*Ａ６１Ｆ 5/44 (2006.01)*
*Ｃ０８Ｌ 33/02 (2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｆ 290/00
Ｂ０１Ｊ 20/26 Ｄ
Ｃ０８Ｆ 2/04
Ｃ０８Ｆ 2/44 Ｃ
Ｃ０８Ｊ 3/24 ＣＥＹＺ
Ａ６１Ｆ 13/18 ３０７Ａ
Ａ４１Ｂ 13/02 Ｄ
Ａ６１Ｆ 5/44 Ｈ
Ｃ０８Ｌ 33:02

【手続補正書】
【提出日】平成19年5月9日(2007.5.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　水溶性及び／又は加水分解により水溶性となる１種以上のラジカル重合性単量体（ａ）と重量平均分子量１０００未満の架橋剤（ｂ）を、水存在下でラジカル重合させて吸水性樹脂を製造する方法において、共重合性二重結合を分子内に２個以上有する重量平均分子量１０００～３０万の水溶性若しくは水分散性若しくは水膨潤性若しくは吸水性の親水性樹脂（ｃ）を共存させて重合を行うことを特徴とする吸水性樹脂（Ａ１）の製造法。
【請求項２】　（ｃ）が、水溶性のラジカル重合性単量体及び／若しくは加水分解により水溶性となるラジカル重合性単量体を重合して得た樹脂に二重結合及び官能性基を有する化合物を反応して二重結合を導入する方法により得られるものである請求項１記載の製造法。
【請求項３】　前記二重結合及び官能性基を有する化合物が、スルホン酸（塩）基、カルボン酸（塩）基、水酸基、エポキシ基、カルボン酸無水物基、アミノ基からなる群から選ばれる官能性基と二重結合を含有する化合物の１種以上である請求項２記載の製造法。

【請求項４】　（ｃ）の量が（ａ）に対して５～５０質量％である請求項１～３のいずれか記載の製造法。

【請求項５】　請求項１～４のいずれか記載の製造法で得られる粒子状の吸水性樹脂（Ａ１）を、架橋剤（ｄ）でさらに表面架橋する吸水性樹脂（Ａ２）の製造法。

【請求項６】 請求項１～５の何れか記載の製造法により得られ（１）生理食塩水に対する保水量が２８ｇ／ｇ以上、（２）生理食塩水による３時間抽出後の水可溶性成分量が１５％以下である吸水性樹脂。

【請求項７】 請求項５記載の製造法により得られ（１）生理食塩水に対する保水量が３０ｇ／ｇ以上、（２）２０ｇ／ｃｍ2荷重下における生理食塩水に対する吸収量が２５ｇ／ｇ以上、（３）４０ｇ／ｃｍ2荷重下における生理食塩水に対する吸収量が２０ｇ／ｇ以上、（４）６０ｇ／ｃｍ2荷重下における生理食塩水に対する吸収量が１５ｇ／ｇ以上、（５）生理食塩水による３時間抽出後の水可溶性成分量が１２％以下である吸水性樹脂。

【請求項８】 請求項６又は７に記載の吸水性樹脂からなる衛生材料。